

平成31年(2019) 2月27日～3月1日

平成30年度(2018)

第4回出雲市議会(定例会)
一般質問通告一覧表

平成30年度（2018）第4回出雲市議会（定例会）
一般質問通告一覧表 目次

2月27日（水） 10:00 開会			2月28日（木） 10:00 開会			3月1日（金） 10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	山代裕始	3	1	伊藤繁満	10	1	萬代輝正	18
2	岸道三	4	2	後藤由美	11	2	西村亮	19
3	寺本淳一	5	3	原正雄	12	3	玉木満	20
4	大場利信	6	4	勝部順子	13	4	湯淺啓史	21
5	児玉俊雄	7	5	板倉一郎	14	5	本田一勇	22
6	保科孝充	8	6	長廻利行	15			
7	錦織稔	9	7	神門至	16 ～ 17			

質問者	30 山代裕始
質問事項・質問内容	
(1) 農業振興地域整備計画の見直しについて	
<p>① 農業振興地域整備計画の見直しについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 農地面積の変動状況 イ 農業従事者数の変動状況 ウ 農振地域内における建売分譲について エ 現状を踏まえた農業振興地域整備計画の見直しについて 	
(2) 災害時の避難場所について	
<p>① 災害時の避難場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ア どういった基準で避難所を指定しているのか イ 立地条件はどの程度考慮してあるのか ウ 収容人数は十分か エ 民間の施設も指定すべきではないか オ 災害の種類によって避難所を決めるべきではないか 	

質問者	10 岸 道 三
質問事項・質問内容	
(1) 用途廃止した学校施設の今後の活用策について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 現段階で事業提案型の公募に至らない要因 ② 公募の見通しおよび時期 ③ 今後、廃校が予定される地域へのアプローチ 	
(2) 斐伊川放水路周辺整備事業について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 残された事業における今後の見通し ② 平成31年度の対象整備事業とその内容 ③ これまでの主な事業と成果 	

質問者	13 寺本淳一
質問事項・質問内容	
(1) 空き家等の予防、活用対策について	
<p>① 昨年「NPO法人 出雲市空き家相談センター」が設立しました。増え続ける空き家に対し、多種多様な問題を、相談者のニーズに応じ、空き家問題、高齢化問題に取り組む様々な専門家とのマッチングを図り、解決に結びつけることを目的としています。出雲市も来年度から建築住宅課内に「空き家対策室」を新設し、相談センターと連携しながら、空き家等の適正管理や民間での利活用、流通促進を図るとされています。そこで改めて空き家等に対する市の考えを伺います。</p> <p>ア 出雲市空家等対策連絡会議ではどのような検討がされているのか。</p> <p>イ 合併当初と現在を比較すると人口が750人の増、世帯数は6299戸の増となっている。供給が需要を大きく上回っている状況と1世帯当たりの家族数が減少していることを考えると、空き家が今後益々増えてくるのではないかと危惧するが、市の考えは。</p> <p>ウ 市と「NPO法人 出雲市空き家相談センター」が連携することで期待される効果。</p> <p>エ 下記の事項について市の考えを伺います。</p> <p>a 空き家等の予防に対し、学校での教育及び地域の生涯学習として終活セミナーや空き家相談等の開催と空き家予備群バンク登録について。</p> <p>b 空き家等の活用に対し、空き家等の利活用が進まない理由として、用途変更して活用する際に建築基準法や消防法などが、建築確認申請手続きや高額な費用が負担となり大きな壁となっているが、市としての緩和措置ができないか。</p> <p>c 空き家等の流通に対し、安心して住み続けられるよう耐震化を含め優良な住宅を提供できるように市が積極的に推進すべき。</p> <p>オ 現在出雲市で制定されている条例や規則、要綱、計画は、予防や活用については具体的な記述がありません。空き家等をつくり出さないためにも、目的や基本理念及び所有者や市、事業者、地域等の役割や責務を明確にし、予防と活用を重点とする条例制定が必要と考えます。さらに出雲市の将来を考えていく中で、市の取組と空き家相談センターの取組を出雲市全体のまちづくり政策として進めていくべきと思うが、市の方針は。</p>	

質問者	18 大場利信
質問事項・質問内容	
(1) 斐川地域におけるまめながタクシー（高齢者外出支援事業）について	
<p>① 平成30年11月16日付けで斐川地域交通運行協議会会長から市長あてに、「斐川地域に必要な公共交通のあり方について～まめながタクシー拡充案～」が報告されました。その内容は、目的地に「地域内の買い物施設（総合スーパー）」、「JR 荘原駅・直江駅」を追加するとともに、運賃の見直し、当日予約を追加すること、午後便の時間延長に伴うダイヤの改正です。高齢のため運転免許を返納する人も増えつつあります。このような中、高齢者の外出の利便性の向上のため、以下伺います。</p> <p>ア この拡充案の早期の実施についての市の見解</p> <p>イ 出雲市全体および斐川地域での運転免許返納者の数</p> <p>ウ タクシー事業者はドライバー不足と高齢化のため、厳しい経営を余儀なくされていますが、今の市からの委託料の算出式では運賃収入を増やすと委託料が減少するという業者のインセンティブが働かないようになっていますがこれを見直す考えの如何</p>	
(2) 介護分野における外国人人材等の就業について	
<p>① 若年層人口の減少により全国的に労働力不足が叫ばれています。市長も施政方針で労働力不足は喫緊の課題であると述べておられます。介護分野における人材確保については今までに介護職員の処遇改善、介護福祉士を目指す学生への就学資金貸与、あるいは介護ロボットやICTの活用など様々な施策がとられてきましたが、人手不足は依然として続いている旨を現場の経営者から聞いております。ここでは介護分野における外国人人材と高齢者の就業について、以下伺います。</p> <p>ア 次に掲げる外国人人材の就業について課題や問題点</p> <p> a 技能実習生</p> <p> b 今年の4月1日から新たな在留資格が設けられた特定技能1号者</p> <p> c 関連して市内のある医療福祉専門学校では、介護分野に進学し、ゆくゆくは介護福祉士の国家資格と介護ビザの在留資格を取得し、施設等で働く日本語能力と専門知識を備えた外国人人材を育成することを目的に日本語学科を設けられました。最近の流れに沿った新たな動きで歓迎すべきものと考えますが、これについて所見を伺います。</p> <p>イ ブラジル国籍の住民の就業について</p> <p> a ますます多くなる出雲市在住のブラジル国籍の人材（家族も含めて）を介護分野で働いてもらうことは介護人材の人手不足の解消と生活の安定そして定住化の促進のためますます必要と考えますが、この点を伺います。</p> <p>ウ 最後に、退職後の高齢者の就業について新たな取り組みを進めたい旨を施政方針で述べられていますが、介護職場での就業策について伺います。</p>	

質問者	6 児 玉 俊 雄
質問事項・質問内容	
(1) コミュニティセンターの機能・体制の強化について	
<p>① 公民館からコミュニティセンターへの移行について、どのように評価されているのか伺う。(合併による移行も含めて)</p> <p>② 43コミュニティセンターのそれぞれの機能について、どのように分析されているのか伺う。</p> <p>③ 地域の力に依存する傾向が強まる中、コミュニティセンターの機能強化や体制強化は必須であると考えますが、次の項目に対する考え方も含め、所見を伺う。</p> <p>ア 情報端末等の設置による機能強化</p> <p>イ 職員の配置による体制強化</p>	
(2) 企業立地優遇制度・雇用促進助成金の見直しについて	
<p>① 県・市の雇用促進助成金の概要について伺う。</p> <p>② 他県・市の雇用促進助成金の状況について伺う。</p> <p>③ 地場企業の労働力不足が深刻化する中で雇用促進助成金については、早急に見直しが必要だと考えますが、所見を伺う。</p>	

質問者	20 保科孝充
質問事項・質問内容	
(1) 斐川町営農座談会における質問から伺う	
<p>① 2月2日から11日にかけて斐川町全域で営農座談会が開催されました。山間地を中心に、後継者不足、急こう配の畦（あぜ）・畦畔の草刈り、あるいはため池の危険性などについての質問・意見がありました。適格な答弁でしたが、疑問点が残った2点について伺います。</p> <p>ア 猪対策について</p> <p> a 出雲市全体及び斐川地域の捕獲頭数・報償費・狩猟免許取得者数</p> <p> b 抜本的な対策</p> <p>イ 斐伊川から取水する農業用水対策について</p> <p> a 秋口の増水により決壊した出西岩樋、出西頭首工付近の砂堰設置と将来の取水対策</p> <p> b 治水と利水について</p>	
(2) 神庭・荒神谷遺跡、結地区の出雲国古代道路跡の調査について	
<p>① 平成31年度の予算に計上された、斐川町神庭の国史跡荒神谷遺跡及び結地区の出雲国古代道路跡の調査関係について伺います。</p> <p>ア 荒神谷遺跡と史跡公園関係について</p> <p> a 国から補助を受けて実施する整備改修事業の内容と今後の計画</p> <p> b 木製遊具の設置内容</p> <p>イ 出雲国古代道路跡遺跡について</p> <p> a 国史跡の追加指定は、道路跡周辺のみを予定しているか</p> <p> b 道路跡が通過する東工区の調査は</p>	

質問者	7 錦 織 稔
質問事項・質問内容	
(1) 支え合う共生社会をめざして	
<ul style="list-style-type: none"> ① 児童生徒のLGBTの課題について伺う <ul style="list-style-type: none"> ア 差別解消に向けた教育の取り組み イ 教職員と児童生徒の理解を深める取り組み ウ 発達に応じた支援計画 ② LGBTの相談窓口について伺う <ul style="list-style-type: none"> ア 人権尊重の立場から、啓発活動の取り組み イ ワンストップ相談窓口の開設 	
(2) 風疹の拡大防止について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 予防接種の推進について <ul style="list-style-type: none"> ア 接種率を高めるための取り組み イ 働き盛りの男性が接種を受けやすい環境をどう整えるか 	
(3) 出雲市出身者会の支援について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 県人会など市と協力関係にある団体数、支援内容と成果 ② 市内各高等学校の同窓会との連携 <ul style="list-style-type: none"> ア 高校同窓会組織の連携の考え イ 各校支部会への支援 	

質問者	19 伊藤繁満
質問事項・質問内容	
(1) 出雲地方の魅力発信と観光戦略について伺います	
<p>① 国においては、昨年6月に平成30年版の観光白書を公表し、今後の観光施策の取り組みを加速させ、日本人旅行者の消費増加や訪日外国人旅行者数4000万人等の目標達成実現に努めることとしています。</p> <p>一方、出雲市においては、本年2月に観光施策についてその現状と課題、目標、主な事業の柱、日御碕地域の観光振興、中海・宍道湖・大山圏域市長会事業等、観光誘客・増加策について説明がありましたが出雲地方における観光ガイドの掘り起こしは不十分であり今後の展開が必要であります。</p> <p>ア 観光客の現状はプラスに転じたものもあればマイナスに転じたものもある中で、相対的に、いかに出雲の満足度を高めていくのかが問われていると考えます。このことは地域づくりをいかに進めていくのかが観光施策に問われていることではないかと考えます。見解を伺います。</p> <p>イ 旧市町に埋もれている観光資源を掘り起し、出雲大社、日御碕を含めた出雲地方全体でのネットワーク化を図り、有機的に観光誘客につなげる必要があると考えます。見解を伺います。</p> <p>ウ 出雲地方には日本にも世界にもないものがあります。屋敷林に囲まれた築地松が独特の農村文化を形成しています。観光資源としての考えを伺います。</p> <p>エ 国立公園誘客へ環境省は山陰インバウンド機構等と協定を締結し、観光振興策を推進しています。トップセールスが望まれますが、内外の様々な機関と連携し戦略的にPRを行うべきと考えます。又、訪日旅行者誘客として出雲空港はなぜ訪日誘客支援空港の認定から漏れているか併せて見解を伺います。</p> <p>オ 出雲空港の玄関口にある斐川町には、日本三美人の湯や荒神谷遺跡等古代とロマンが漂う優れた観光地がありますが十分に活かされていない現状であります。又、湯の川温泉郷から奥に進むと標高309メートルの大黒山があり、頂上からは出雲地方から奥出雲地方まで一望できロケーションは素晴らしいものがあります。幼稚園、保育園等の遠足や県外客、帰省客等の多くの方が登山されますが登山道の整備が必要です。所見を伺います。</p>	

質問者	4 後藤由美
質問事項・質問内容	
(1) 高すぎる国民健康保険料の引き下げについて	
<p>① 国民健康保険料が高すぎ、今年2月時点で11.3%の世帯が滞納となっており、正規保険証が取り上げられ、短期保険証や資格証が400世帯以上に発行されています。今年度からは国保の都道府県化もスタートし、さらに保険料値上げが心配されています。 そこで伺います。</p> <p>ア 国保加入者の平均保険料（1人あたり）は、政府の試算でも、中小企業の労働者が加入する協会けんぽの1.3倍、大企業の労働者が加入する組合健保の1.7倍という水準になっています。「所得は低いのに、保険料はいちばん高い」という国保の構造的問題を打開し、不公平を正すべきだと考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>イ 高すぎる国保料を引き下げ、国保の構造的問題を解決するためには、公費を投入するしかありません。全国知事会、全国市長会、全国町村会なども国保の定率国庫負担の増額を政府に要望し続けており、全国知事会は2014年に公費を1兆円投入して協会けんぽ並み負担率にすることを政府・与党に要望しています。危機を打開するにはこの道しかないと考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>ウ 国保料が協会けんぽなどと比べて著しく高くなる大きな要因になっているのは、国保にしかない「均等割」「平等割（世帯割）」という保険料算定です。子どもの数が多いほど国保料が引き上がる「均等割」は、「まるで人头税」「子育て支援に逆行」という批判があります。そこで、市独自の努力として公費を入れて「18歳未満の子どもの均等割」を廃止すべきと考えますが、所見を伺います。</p>	
(2) 「養護老人ホーム」への入所について	
<p>① 市内の65歳以上の高齢者は、2017年9月時点で約5万1千人です。高齢化が進んでいる今、高齢者が安心して暮らせる社会をつくることは政治の重要な責任です。今、貧困が日本社会を覆い、生活・病気・家族関係など複雑な問題をかかえた高齢者が増える中、老人福祉法に規定される「養護老人ホーム」の役割は大きくなっています。 そこで、伺います。</p> <p>ア 「養護老人ホーム」は、老人福祉法に規定された市が措置する老人福祉施設です。常時介護の必要はないが、心身および経済的な理由などから、居宅における生活が困難な65歳以上の高齢者の方が入れる施設です。市内に2カ所ありますが、市民にどう周知されていますか。</p> <p>イ 入所の相談を受けたあと、市は措置するために「入所判定委員会」を開きます。希望され、入所条件に合った方を入所させようとするれば、普通毎月1回は「入所判定委員会」があつてしかるべきです。しかし現在は2カ月に1回となっています。また、「入所判定委員会」のメンバーに「養護老人ホーム」の関係者がいません。専門家として入るべきだと思いますが、所見を伺います。</p> <p>ウ 高齢者の経済的困難、1人暮らしの増加などで「養護老人ホーム」のニーズは大きくなっていますが、市内では「定員割れ」や「待機者ゼロ」という考えにくい状況が生まれています。この状況をどう認識していますか。</p>	

質問者	16 原 正 雄
質問事項・質問内容	
(1) トキ一般公開に向けて	
<ul style="list-style-type: none"> ① トキ公開地の案内の徹底 ② しまね花の郷を第1ルートとした公開順路を指定 ③ トキを（西日本で初めての公開）生かした集客計画の策定及びトキをシンボルとしたおみやげ等商品の開発 ④ NPO法人いずも朱鷺21との連携強化とトキ放鳥に向けた訓練場の確保 ⑤ 今後、出雲の空に羽ばたくトキに向けた環境整備 	
(2) 新体育館建設に向けた状況について	
<ul style="list-style-type: none"> ① 新体育館建設計画策定の状況について <ul style="list-style-type: none"> ア 現段階までの報告 イ 今後の見通しと答申の提出予定の期日は ウ 議会への報告方法は エ 基本計画の策定に係る審議会の皆様は短期間での審議で大変な事と考えますが、手当て等配慮されていますか。 ② 平成31年度は用地測量、基本設計、造成設計、開発協議、用地交渉等が予定されています。それぞれの取り組み方について説明下さい。 ③ 新体育館は体育の場は勿論の事、市民の憩いの場として集り易い場となって行かねばなりません。住民の意見が取り入れられる仕組みを考えて頂きたいがどう取り組まれるのか。 ④ 体育館の鳥瞰図及び模型はある程度固まった段階で発表、展示されますか。できれば市役所正面に展示して頂きたい。 	

質問者	29 勝部 順子
質問事項・質問内容	
(1) 旧有原住宅の跡地活用について、市の考えを伺います。	
<p>① 前回、旧有原住宅の跡地利用について質問致しました。市として有効な活用について検討されていると答弁されました。 その後の、状況について伺います。</p>	
(2) 路線バス及び高齢者外出支援事業について	
<p>① 市内には、公共交通機関の利用が困難な地域において、福祉バスを運行され、高齢の方や障がいのある方の外出機会を確保し、介護予防や健康増進が図られています。 旧出雲市の中心地域には、運行されていません。 塩冶町、今市町などに住まれている方たちから、福祉バスを通してほしいとの声が寄せられました。 ぜひとも、中心地域にも福祉バスを走らせていただくことを強く願います。</p>	

質問者	24 板倉 一郎
質問事項・質問内容	
(1) 出雲市のキャッシュレス決済の推進について	
<p>① 現在、国をあげてキャッシュレス決済の推進の取り組みをおこなっています。出雲市でも、今年10月に向けた消費税対策のキャッシュレス5%還元、商業関係での労働力不足への対応、外国人観光客対策などを考えると、今以上の積極的な取り組みが必要と考えます。そこで次の点を伺います。</p> <p>ア キャッシュレス決済を推進する目的</p> <p>イ 出雲市での現状（民間および公共）</p> <p>ウ 今後の推進の取り組み（民間および公共）。特に消費税対策のキャッシュレスにおける5%ポイント還元は10月から9か月間の時限であり急がれる。</p> <p>エ 住民への啓発活動</p>	
(2) 子どもの学力向上への取り組みについて	
<p>① 市長の施政方針に、「学校教育について確かな学力定着のため、教員の授業力向上を図るとともに、プリント配信システムの導入など、習熟度に応じた指導支援、家庭学習への支援を行います。」とあるが、具体的な内容を伺います。</p>	

質問者	32	長 廻 利 行
質問事項・質問内容		
(1) 観光地としての環境整備について		
① みせん広場駐車場の公衆トイレの整備について		

質問者	1 2 神 門 至
質問事項・質問内容	
(1) 小学校・低学年児童のランドセル通学について	
<p>① 小学校・低学年児童が通学時に使用しているランドセルの中の教材の重量について、どのように認識されているか伺います。</p> <p>② また、その重量は通学時に児童のストレスや防犯上において危険性はあるか、否か伺います。</p> <p>③ 最後に、通学時のランドセルの中の教材や持参品を少なくするべきではないか。市の考えについて伺います。</p>	
(2) 通学路に隣接する危険空き家の状況と対策について	
<p>① 市は、通学路に隣接する危険空き家の状況と対策について、どのように調査され、把握されているか、否か伺います。</p> <p>② また、調査されていれば、その状況及び、その対応について伺います。</p> <p>③ 最後に、通学路に隣接し、かつ、交差点に隣接する見通しの悪い空き家は、所有者と協議しつつ、見通しの良い交差点にする対策が必要であると考えます。市の考えを伺います。</p>	
(3) 高齢者の運転免許自主返納について	
<p>① 高齢者の交通事故件数は、全体の何割を占めているか。過去、3か年の状況について伺います。</p> <p>② また、高齢者の運転免許返納件数及び、高齢者数の割合は、75歳以上について伺います。</p> <p>③ 最後に、返納者への支援策の意向調査は実施されているか、否か伺います。</p> <p>④ また、調査されていれば、その状況及び、その支援策について伺います。</p>	
(4) 外国人住民の一次産業への就労について	
<p>① 市は、本議会で新規に事業提案される「農業やりたい外国人支援事業」は、就農体験や地域住民との交流、定住策の視点で大いに評価できる事業と考えますが、この事業が雇用就農にマッチングできる事業にすることが極めて重要であります。市の考えについて伺います。</p> <p>② また、就農支援推進体制づくりの中で、「関係団体による連絡会議を年2回程度開催する。」とされていますが、具体的な協議内容について検討されていれば、その内容について伺います。</p> <p>③ 最後に、この事業については、特に、農業に関する支援事業の一つではありますが、漁業並びに林業に関しても、後継者不足や将来の担い手対策の視点から関心や従事したい外国人住民に対する支援策が必要であると考えます。市の考えについて伺います。</p>	

(5) 西代橋の耐震補強工事について

- ① 工事の概要と期間について伺います。
- ② また、西代橋に隣接する歩道橋のオートバイの通行はできるか、否か伺います。
- ③ 最後に、工事について地域住民及び利用者への周知は万全か伺います。

(6) 出雲空港・空の玄関口のおもてなしについて

- ① 東京オリンピック・パラリンピックを間近に控え、各自治体では、インバウンドの推進がなされています。とりわけ、出雲市では、11月にソフトボールの女子日本代表のキャンプが決定されています。こうして、東京オリンピック・パラリンピックの開催まで1年余りとなる中で、空の玄関口である出雲空港での「花壇の整備」など、県と連携しつつおもてなしの準備を進めるべきと考えます。市の考えについて伺います。

質問者	23 萬代輝正
質問事項・質問内容	
(1) 続・中学校部活動指導員制度と今後の部活動内容	
<ul style="list-style-type: none"> ① 中学校の部活動は、来年度から変化があるのか伺う ② 島根県教育委員会の部活動指導員制度の動向を伺う ③ 昨年9月議会一般質問後に市教育委員会は、どのような動きをされたのか ④ 部活動指導員の規則等の策定状況と来年度の配置予定を伺う ⑤ 文化スポーツ課として「部活動指導員」制度に対し対策を打っているのか ⑥ 今後の中学校の部活動は、社会や地域活動に変化していくのか見解を伺う 	
(2) 保育所と放課後児童クラブの来年度入所状況を問う	
<ul style="list-style-type: none"> ① 現時点での市内保育所の入所（待機児童）状況 ② 過去5年の保育所定員増の数値と待機児童数の推移 ③ 現時点での放課後児童クラブの入所（待機）状況 ④ 過去5年の放課後児童クラブの定員増減数と待機の状況 ⑤ 両施設に待機がある場合の市としての対応があればお示し下さい 	

質問者	17 西村 亮
質問事項・質問内容	
(1) 介護人材確保と今後の課題	
<ul style="list-style-type: none"> ① 介護人材の確保が困難な事業所が多いと聞くが所見は ② 出雲市内の事業所において介護人材の状況と課題 ③ 外国人を含めた人材確保が喫緊の課題と考えるが如何か ④ 語学の研修や介護の研修等、事業所の負担は大であり、島根県は修学資金貸付制度があるが、出雲市においても充実した助成制度を確立すべきと考えるが所見は 	
(2) 北山山地、湖北山地におけるシカ対策	
<ul style="list-style-type: none"> ① 北山山地、湖北山地におけるシカ生息頭数 <ul style="list-style-type: none"> ア ベイズ法、ライトセンサス調査、区画法調査等の生息頭数 ② 北山山地、湖北山地におけるシカ捕獲頭数 <ul style="list-style-type: none"> ア 出雲市におけるイノシシ、ヌートリア捕獲頭数 ③ シカは毎年減少の傾向だが捕獲体制の課題を伺う ④ 被害防止対策において防護柵の新設・更新等の助成制度と課題 ⑤ シカの生息調査、捕獲区域の拡大は 	

質問者	2	玉 木 満
-----	---	-------

質問事項・質問内容

(1) 出雲市の観光動態について

① 出雲市の観光入込客延べ数の推移について

年	観光入込客延べ数			前年比		
	出雲市	出雲大社	日御碕	出雲市	出雲大社	日御碕
平成25年	15,758,052	8,040,000	1,562,000	51.0%	130.8%	56.2%
平成26年	13,099,631	6,647,000	1,221,555	-16.9%	-17.3%	-21.8%
平成27年	12,495,489	6,076,000	1,183,095	-4.6%	-8.6%	-3.1%
平成28年	12,020,623	6,058,000	979,830	-3.8%	-0.3%	-17.2%
平成29年	11,983,084	6,040,000	1,001,070	-0.3%	-0.3%	2.2%

出典：島根県観光動態調査

ア 過去5年の観光入込客延べ数の推移について、どのように評価しているか伺う。併せて、出雲大社と日御碕の推移に特化した評価も伺う。

イ 先般、平成30年の観光入込客延べ数の速報値が公表された。過去5年の観光入込客延べ数の推移を踏まえ、速報値について見解を伺う。

② 観光客の移動手段について

ア 観光動態調査及びRE S A Sでは、自動車による移動が多いと分析されている。出雲縁結び空港と公共交通機関の現在の接続状況について見解を伺う。

イ 日御碕地域へのさらなる誘客には、移動手段の検討が大きな要素と考える。出雲観光協会が受託して実施された、超小型モビリティ実証事業の評価を伺う。

(2) 出雲市のWebサイト、SNSについて

① 情報機器及び情報通信技術の進化に伴い、インターネットを利用した情報共有は身近なものとなった。出雲市はインターネットを利用した情報発信を積極的に行っているが、現在の状況について伺う。

ア 出雲市が管理しているWebサイトについて

- a Webサイト数及び運用状況について
- b 出雲市ホームページのアクセス解析について
- c 不正アクセス対策について

イ 出雲市が利用しているSNSについて

- a SNSの利用数及び運用状況について
- b 情報発信の影響力について
- c アカウントのフォロー数等について

質問者	1 1 湯 浅 啓 史
質問事項・質問内容	
(1) 地場中小企業・小規模企業振興の取り組みについて	
<p>① 昨年策定された「出雲市中小企業・小規模企業振興計画」に基づき、今後支援体制が構築され、施策が実施されるが、その基礎調査を目的に、市内中小・小規模企業実態調査が行われた。 現在集計分析が行われている段階だが、改めて以下の点を伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 対象者選定の方法とその数、発送時期と回答締切 イ 回答数と現在の取りまとめ状況 ウ 調査結果の公表と方法 <p>② 地域経済分析システムRESASが示す出雲市の地域経済循環図を参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 地域経済を支える産業は何だと考えるのか イ 地域外への支出流出が起こっており地域経済循環率が低いことをどう考えるか <p>③ 大規模小売店舗の進出がめざましく他地域に比して突出している</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 現在の店舗数、人口比、店舗面積、大規模小売店舗占有率はどのような状況か イ 出雲市内の商店数、商品販売額の推移はどのような状況か ウ 健全な経済循環を生んでいると考えるのか 	

質問者	8 本 田 一 勇
質 問 事 項 ・ 質 問 内 容	
(1) 国際交流員の仕事は、そして目的は何ですか	
<p>① 国際交流員の仕事は、どんなことがありますか。 国際交流は、先ずは人が行き来して、次に物が行き来してそしてお金が流れる。これはごく普通だと思います。お金が流れなければ、相手国も交流しなくなると思いますが、いかがですか。 20年近く学生の交流だけというのはもったいないと思いますが、いかがですか。</p>	